

教育民生常任委員会報告書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和3年4月8日（木） 午後1時30分 ～ 午後4時10分			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他（ ）			
出 席 者 数	委員 5名のうち出席者 5名			
出 席 委 員	委 員 長	古谷 幹夫	委 員	田邊 哲夫
	副委員長	武田 秀義	委 員	堀本 伸一
	委 員	水間 淳一		
欠 席 委 員				
事 務 局	局 長	長谷部 卓也		
説 明 者	町 長	中尾 博憲	文化的施設 整備推進室	政策監 大元 学
	教 育 長	山脇 光章		室 長 大河原信子
	生涯学習課	課 長 林 瑞穂		主 査 西尾洋亮
	健康福祉課	副課長 小松 充		主 任 松下理恵
	建 設 課	課 長 竹内幸喜		
傍 聴 者		な し		
付 議 事 件	1. 陳情審査について			
	①陳情第1－22号 四万十町に人工芝の多目的グラウンド建設を求める要望書			
	②陳情、第2－6号 「妊産婦医療費助成制度創設」を求める陳情書			
	2. 今後のスケジュール			
	3. その他			
	①文化的施設整備に関する件			
審 査 ・ 調 査	②視察研修に関する件			
	1. 陳情審査について			
	①本案件については、去る3月11日の審査で継続案件となっており、同じ要望書が町にも提出されていることを踏まえ、町としての対応を確認することを目			
	的に、中尾町長、林生涯学習課長、山脇教育長の同席を求め、説明を受けたう			
	えで審査した。			
	冒頭中尾町長よりこれまでの経過として、香川県の事例視察、県サッカー協会			
	からの状況調査、要望者の意見陳述を踏まえたうえで、土地の確保、計画性、			
	財源確保等々の問題を考えると相当に厳しい状況にあるとの所感が示された。			

	その後、林生涯学習課長より陳情に関する経過説明とこの案件に対する町としての状況報告を受けた。
	○用地確保面での困難性
	○多額な造成費用等（7億円余りが想定される）
	○県からの支援は限定的であること
	○経済波及効果は限定的である（宿泊施設がない）
	○ランニングコストの問題（10年に一度人工芝張り替え、要2億円）
	等多大な投資経費を必要とする案件であり、極めて厳しい状況にあると捉えていることを確認した。
	本日の状況確認を踏まえ、できるだけ早期に結論を出すことを前提に継続審査とすることを確認した。（13：55）
	②本案件も継続審査扱いとなっており、去る3月11日の審査で委員から出されていた以下の2点
	○出産までにどのくらいの医療費がかかっているのか
	○県議会での審議の内容を参考にする
	を踏まえ、出産までの医療費に関しては、健康福祉課の小松係長から国保のデータをもとにした推定値の説明を受けた。
	また、県議会の審議については議事録を参考資料として委員に配布し審議をした。
	○他県の事例も参考にして判断材料にすべき
	○本案件を採択した県下19市町村の状況も参考にしたい
	との意見を確認し、継続審査とした。（14：35）
	2. 今後のスケジュール
	別紙教育民生常任委員会の活動計画案を各委員に示し、了解を得た。
	3. その他
	①文化的施設の対応窓口が生涯学習課から新たに企画課文化的施設整備推進室に移ったことに伴い、太元政策監以下推進室のメンバーが出席。
	太元政策監より説明資料に基づき、文化的施設整備推進室の設置及び体制、今後の進め方等、基本設計の概要について説明を受け他後で質疑応答を行った。
	■委員から出された主だった意見
	○反対署名の状況について・・・700名強の署名による建設に反対嘆願書

	○説明会を開いても参加者が少ない現実がある。ケーブルを活用し、関心を高めることが必要。小集会にも出向いて行って説明することも必要（田邊委員） ○今計画しているものが本当に必要なものであるのか見直すことが必要。嘆願書に見られるように住民の声と執行部との間の乖離を埋めることが必要。 ○人口の減少傾向も踏まえ身の丈に合った計画を強く望んでいるのが多くの意見だ。（武田委員） ○身の丈、実態に見合ったものとすべき。将来的にお荷物になるのではとの不安・懸念がある。（堀本委員） ○コスト削減の視点のみでは不十分 ○限られた時間の中でしっかりとした内容をどこまで詰め切れるのか ○住民への説明会の後で合意が取れたどう判断できるのか。 ○出来るだけ時間をとって進めていくべき大変な課題だ。 ②長谷部事務局長よりオーテピア、中土佐町美術館の視察研修について内容等の説明を受ける。 実施日は４月２３日。午前にオーテピア、午後の中土佐町美術館の行程。 出発時間は午前８時半に出発することを確認。 オーテピアでは、「これからの図書館に求められ役割」、中土佐町では「美術館の実状」を中心に研修することを伝えて閉会した。（１６：１０）
反対意見	
報告日	令和３年４月３０日（金）
委員長署名	古谷 幹夫